

カタツムリはどこから^{たまご う}卵を産むの

カタツムリも^{こうび}交尾する

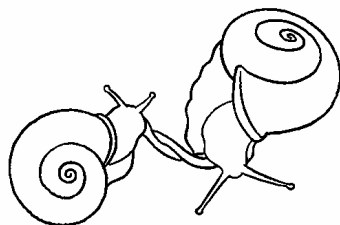
カタツムリは、一匹の^{からだ なか}体の中に、オスとメスの^{きかん}器官をもっている、^{しゅうどうたい どうぶつ}雌雄同体の動物です。でも、一匹だけでは、^{しそん のこ}子孫を残すことはできず、^{かなら}必ず、ほかのカタツムリと^{こうび}交尾をして、^{たまご う}卵を産みます。

交尾の^{こうび}時期に^{じき めだ}目立ってくるこぶ

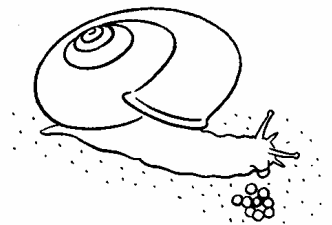
カタツムリは、^{たまご う}卵を産む時期が^{じき}近づくと、^{あたま だいしよっかく}頭の大触角の^ね根もと^{ちか}近くに、^{おお}こぶが^め大きく目立ってきます。^{こうび}交尾をするときは、二匹のカタツムリが^{あたま}頭を^{よあ}寄せ合い、この^{こぶ}こぶの部分に、^{ほそ くだ}細い管をさしこみあって、オスの^{いでんし}遺伝子(^{おや}親の^{せいしつ}性質や^{たいしつ}体質を伝えるもの)を^{あいて}相手にわたします。そして、^{りょうほう}両方のカタツムリが、それぞれ^{かあ}お母さんになって、^{こうび}交尾から^{げつ}1か月ぐらいうると、^{たまご う}卵を産む時期がきます。

卵を産むのは、^{あたま}頭の^{こぶ}こぶから

カタツムリは、^{あたま}頭と^{あし}足を使って^{つか}湿った土や^{しめ}落ち葉の下を^{つち}ほり、^{あたま}頭を^{あな}あなに^{さしこん}で、^{たまご う}卵を産みます。^{たまご う}卵を産むのは、^{こうび}交尾をしたときの、^{あたま}頭にある、^{こぶ}こぶの^{あな}あなから^う産みます。この^{こぶ}こぶは、^{こうび}交尾の^{じき}時期以外は、^{めだ}あまり目立たないので、^み見ても^き気がつかないことが^{おほ}多いでしょう。(監修・中山 周平)



交尾するカタツムリ



頭のこぶから産卵するカタツムリ

